



第Ⅳ部

資質能力評価の評価項目及び行動

○資質能力評価の評価項目及び行動 【校 長】

校 長			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りを参画する。
学校経営	2 校長として必要な知識を持ち、学校経営目標の実現に向け、魅力ある学校づくりに取り組む。	①知識活用	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、学校経営に取り入れる。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を多面的に把握分析した上で、適切な学校経営目標を設定する。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握分析し、解決に向けた方針等を示す。
		④組織の活性化	学校経営目標の実現に向け、有効な学校運営組織を編成し、学校運営の改善や組織の活性化に取り組む。
学校管理	3 児童生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、適正な学校管理を行う。	①事務管理	公簿の処理 保管、諸会計に関する業務等の校務を法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	学校施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	児童生徒、職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制を整備し、周知する。
		⑤教育課程編成等	学習指導要領等に基づいた適正な教育課程を編成 実施し、児童生徒の実態に応じた教育活動を展開する。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に開かれた学校づくりに取り組む。	①意思疎通	職員一人一人と意思疎通を図り 報告 連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携強化	組織体制の充実に向け、各部 学年間等の連携強化を図る。
		④情報発信	学校の情報を保護者や地域等に適切に発信する。
		⑤外部連携	保護者や地域の実態、要望等を的確に把握し、保護者や地域、関係機関等と連携した教育活動を展開する。
人材活用・育成	5 有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた取組を行う。	①人材活用	職員一人一人の能力や適性を踏まえ、適切に校務を配分する。
		②評価 指導助言	職員一人一人を公正 公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる指導助言を行い、職員のやる気や自信を高める。
		③研修実施 奨励	職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた研修の実施や奨励等を行う。
判断・指示	6 学校運営上の諸課題の解決に向け、学校の最高責任者として、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、最適な方策を選択する。
		②適切な指示	判断した結果や対応方針等を示し、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【副校長】

副校長			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りに参画する。
学校運営	2 管理職として必要な知識を持ち、校長の補佐役として命を受けて校務をつかさどり魅力ある学校づくりに積極的に取り組む	①知識活用	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、校長の補佐役として、必要な報告や的確な積極的な進言を行う。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を多面的に把握分析した上で、適切な学校経営目標の設定について、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行う。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握分析し、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行い、課題解決に積極的に取り組む。
		④組織活性化	校長の補佐役として、学校経営目標の実現に向け、学校運営組織を有効に運営し、学校運営の改善や組織の活性化に取り組む。
学校管理	3 児童生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、校長の補佐役として、適正な学校管理を行う。	①事務管理	公簿の処理 保管、諸会計に関する業務等の校務について、校長の補佐役として、法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	校長の補佐役として、職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	学校施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、校長の補佐役として、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	校長の補佐役として、児童生徒、職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制を整備し、周知する。
		⑤教育課程編成等	学習指導要領等に基づいた適正な教育課程の編成 実施及び児童生徒の実態に応じた教育活動の展開について、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行う。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、校長の補佐役として、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に開かれた学校づくりに積極的に取り組む。	①意思疎通	校長の補佐役として、職員一人一人と意思疎通を図り、報告 連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	校長の補佐役として、学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携強化	組織体制の充実に向け、校長の補佐役として、各部 学年間等の連携強化を図る。
		④情報発信	校長の補佐役として、学校の情報を保護者や地域等に積極的に発信する。
		⑤外部連携	校長の補佐役として、保護者や地域の実態、要望等を的確に把握し、保護者や地域、関係機関等と連携し、充実した教育活動を展開する。
人材活用・育成	5 校長の補佐役として、有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた積極的な取り組みを行う。	①人材活用	校長の補佐役として、職員一人一人の能力や適性を把握し、校務の配分について積極的に進言する。
		②評価 指導助言	校長の補佐役として、職員一人一人を公正 公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる指導助言を行い、職員のやる気や自信を高める。
		③研修実施 奨励	校長の補佐役として、職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた研修の実施や奨励等を積極的に行う。
判断・指示	6 学校運営上の諸課題の解決に向け、校長の補佐役として、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、校長の補佐役として、最適な方策について校長に進言する。
		②適切な指示	校長の補佐役として、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【教 頭】

		教頭	
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校運営	2 管理職として必要な知識を持ち、学校経営目標の実現に向け、校長の補佐役として、魅力ある学校づくりに取り組む。	①知識活用	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行う。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を多面的に把握分析した上で、適切な学校経営目標の設定について、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行う。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握分析し、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行い、課題解決に取り組む。
		④組織活性化	校長の補佐役として、学校経営目標の実現に向け、学校運営組織を有効に運営し、学校運営の改善や組織の活性化に取り組む。
学校管理	3 児童生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、校長の補佐役として、適正な学校管理を行う。	①事務管理	公簿の処理 保管、諸会計に関する業務等の校務について、校長の補佐役として、法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	校長の補佐役として、職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	学校施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、校長の補佐役として、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	校長の補佐役として、児童生徒、職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制を整備し、周知する。
		⑤教育課程編成等	学習指導要領等に基づいた適正な教育課程の編成 実施及び児童生徒の実態に応じた教育活動の展開について、校長の補佐役として、必要な報告や的確な進言を行う。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、校長の補佐役として、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に開かれた学校づくりに取り組む。	①意思疎通	校長の補佐役として、職員一人一人と意思疎通を図り、報告 連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	校長の補佐役として、学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携強化	組織体制の充実に向け、校長の補佐役として、各部 学年間等の連携強化を図る。
		④情報発信	校長の補佐役として、学校の情報を保護者や地域等に適切に発信する。
		⑤外部連携	校長の補佐役として、保護者や地域の実態、要望等を的確に把握し、保護者や地域、関係機関等と連携した教育活動を展開する。
人材活用・育成	5 校長の補佐役として、有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた取組を行う。	①人材活用	校長の補佐役として、職員一人一人の能力や適性を把握し、校務の配分について校長に進言する。
		②評価 指導助言	校長の補佐役として、職員一人一人を公正 公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる指導助言を行い、職員のやる気や自信を高める。
		③研修実施 奨励	校長の補佐役として、職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた研修の実施や奨励等を行う。
判断・指示	6 学校運営上の諸課題の解決に向け、校長の補佐役として、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、校長の補佐役として、最適な方策について校長に進言する。
		②適切な指示	校長の補佐役として、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務長（課長級）】

事務長（課長級）			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校運営	2 管理職として必要な知識を持ち、学校経営の目標の実現に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、魅力ある学校づくりに積極的に取り組む。	①知識活用	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、事務の総轄者 管理職としての知識を活用し、必要な報告や的確な進言を行う。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を多面的に把握分析した上で、適切な学校経営目標の設定について、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握分析し、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行い、課題解決に積極的に取り組む。
		④組織活性化	事務の総轄者として校長を補佐し、学校経営目標の実現に向け、学校運営組織を有効に運営し、学校運営の改善や組織の活性化に積極的に取り組む。
学校管理	3 児童生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、事務の総轄者として校長を補佐し、適正な学校管理を行う。	①学校事務の管理	予算の効率的執行や公金の適正管理等の学校事務の業務遂行について、事務の総轄者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	学校施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、事務の総轄者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制の整備に取り組む。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、関係者と高度な調整 連携を行い、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に開かれた学校づくりに積極的に取り組む。	①意思疎通	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人と意思疎通を図り、報告 連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	事務の総轄者として校長を補佐し、学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携強化	組織体制の充実に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、事務と各部等の連携強化を図る。
		④情報発信	事務の総轄者として校長を補佐し、学校の情報を保護者や地域等に適切かつ積極的に発信する。
		⑤外部連携	事務の総轄者として校長を補佐し、保護者や地域、関係機関等と高度な調整 連携を行い、教育活動の充実を図る。
人材活用・育成	5 管理職としての豊富な知識 経験に基づき、有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた取り組みを積極的に行う。	①人材活用	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人の能力や適性を把握し、校務の配分について積極的に進言する。
		②評価 指導助言	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人を公正 公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる指導助言を積極的に行い、職員のやる気や自信を高める。
		③研修実施 奨励	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた研修の実施や奨励等を行う。
判断・指示	6 学校運営上の諸課題の解決に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、事務の総轄者として校長を補佐し、最適な方策について校長に進言する。
		②適切な指示	事務の総轄者として校長を補佐し、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務長（班長級）】

事務長(班長級)			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りへ参画する。
学校運営	2 管理職として必要な知識を持ち、学校経営の目標の実現に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、魅力ある学校づくりに取り組む。	①知識活用	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を把握分析した上で、適切な学校経営目標の設定について、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握分析し、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行い、課題解決に取り組む。
		④組織活性化	事務の総轄者として校長を補佐し、学校経営目標の実現に向け、学校運営組織を有効に運営し、学校運営の改善や組織の活性化に取り組む。
学校管理	3 児童生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、事務の総轄者として校長を補佐し、適正な学校管理を行う。	①学校事務の管理	予算の効率的執行や公金の適正管理等の学校事務の業務遂行について、事務の総轄者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	学校施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、事務の総轄者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制の整備に取り組む。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、関係者と調整連携を行い、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に開かれた学校づくりに取り組む。	①意思疎通	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人と意思疎通を図り、報告 連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	事務の総轄者として校長を補佐し、学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携強化	組織体制の充実に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、事務と各部等の連携強化を図る。
		④情報発信	事務の総轄者として校長を補佐し、学校の情報を保護者や地域等に適切に発信する。
		⑤外部連携	事務の総轄者として校長を補佐し、保護者や地域、関係機関等と連携し教育活動の充実を図る。
人材活用・育成	5 管理職としての知識 経験に基づき、有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた取り組みを行う。	①人材活用	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人の能力や適性を把握し、校務の配分について校長に進言する。
		②評価 指導助言	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人を公正 公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる指導助言を行い、職員のやる気や自信を高める。
		③研修実施 奨励	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた研修の実施や奨励等を行う。
判断・指示	6 学校運営上の諸課題の解決に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、事務の総轄者として校長を補佐し、最適な方策について校長に進言する。
		②適切な指示	事務の総轄者として校長を補佐し、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務長（主査級）】

事務長(主査級)			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校運営	2 事務長として必要な知識を持ち、学校経営の目標の実現に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、魅力ある学校づくりに取り組む。	①知識活用	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を把握した上で、適切な学校経営目標の設定について、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握し、事務の総轄者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行い、課題解決に取り組む。
		④組織活性化	事務の総轄者として校長を補佐し、学校経営目標の実現に向け、学校運営組織を有効に運営し、学校運営の改善や組織の活性化に取り組む。
学校管理	3 児童生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、事務の総轄者として校長を補佐し、適正な学校管理を行う	①学校事務の管理	予算の効率的執行や公金の適正管理等の学校事務の業務遂行について、事務の総轄者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	学校施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、事務の総轄者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制の整備に取り組む。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に開かれた学校づくりに取り組む。	①意思疎通	事務の総轄者として校長を補佐し、職員と意思疎通を図り、報告・連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	事務の総轄者として校長を補佐し、学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携	組織体制の充実に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、事務と各部等の連携を図る。
		④情報発信	事務の総轄者として校長を補佐し、学校の情報を保護者や地域等に適切に発信する。
		⑤外部連携	事務の総轄者として校長を補佐し、保護者や地域、関係機関等と連携し教育活動の充実を図る。
人材活用・育成	5 事務長としての知識 経験に基づき、有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた取り組みを行う。	①人材活用	事務の総轄者として校長を補佐し、職員の能力や適性を把握し、校務の配分について校長に進言する。
		②評価 助言	事務の総轄者として校長を補佐し、職員を公正 公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる助言を行い、職員のやる気を高める。
		③研修実施 奨励	事務の総轄者として校長を補佐し、職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた研修の奨励等を行う。
判断・指示	6 学校運営上の諸課題の解決に向け、事務の総轄者として校長を補佐し、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、事務の総轄者として校長を補佐し、最適な方策について校長に進言する。
		②適切な指示	事務の総轄者として校長を補佐し、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【船 長】

船 長			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りを参画する。
実習船運営	2 実習船の指揮監督者として必要な知識を持ち、学校経営目標の実現に向け、校長の指示のもと、実習船運営の充実に取り組む。	①知識活用	国や県の水産教育関連施策や関係法令等を理解し、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		②目標設定	学校評価等をもとに学校の状況を多面的に把握分析した上で、適切な学校経営目標の設定について、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行う。
		③課題解決	学校の取り組むべき課題を把握分析し、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、必要な報告や的確な進言を行い、課題解決に取り組む。
		④組織活性化	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、学校経営目標の実現に向け、実習船運営組織を有効に運営し、実習船運営の改善や組織の活性化に取り組む。
実習船管理	3 生徒や職員が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、適正な実習船管理を行う。	①事務管理	公簿の適正な処理 保管等に関する業務遂行について、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、法令等に基づき適正に管理する。
		②服務管理	職員の服務管理を法令等に基づき適切に行い、人権意識やコンプライアンスの向上、不祥事防止に向けた取組を計画的 継続的に行う。
		③施設 設備管理	実習船施設 設備等について、事故の未然防止や有効活用が行われるよう、法令等に基づき適正に管理する。
		④安全 危機管理	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、生徒や職員の健康 安全指導を行うとともに危機管理体制の整備に取り組む。
協働・連携	4 学校経営目標の実現に向け、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、職員の協働体制づくりと保護者や地域等に関わった学校づくりに取り組む。	①意思疎通	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、職員一人一人と意思疎通を図り、報告 連絡 相談のできる職場体制を整える。
		②共通理解	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、学校経営目標や課題解決の方針等について、職員全体で共通理解を図る。
		③連携強化	組織体制の充実に向け、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、関係部署等の連携強化を図る。
		④外部連携	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、保護者や地域、関係機関等と連携し教育活動の充実を図る。
人材活用・育成	5 実習船の指揮監督者として校長を補佐し、有効な人材活用と職員の士気の高揚を図り職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた取組を行う。	①人材活用	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、職員一人一人の能力や適性を把握し、適切な役割分担について校長に進言する。
		②評価 指導助言	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、職員一人一人を公平に評価した上で、職能開発、資質向上につながる指導助言を行い、職員のやる気や自信を高める。
		③資格取得奨励	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、職員一人一人の職能開発、資質向上に向けた資格取得等の奨励を行う。
判断・指示	6 実習船運営上の諸課題の解決に向け、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、的確な判断のもと、適時に必要な指示を行う。	①最適な選択	必要な情報を収集 分析し、学校経営目標や現状等を踏まえ、実習船の指揮監督者として校長を補佐し、最適な方策について校長に進言する。
		②適切な指示	実習船の指揮監督者として校長を補佐し、職員に対して適切な指示を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【主幹教諭】

主幹教諭			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校運営への参画	2 学校経営目標の実現に向け、校長及び副校長 教頭を補佐し、広い視点から積極的に課題解決に取り組む。	① 職務遂行	学校運営上の自らの役割を理解し、担当する職務を適切に遂行する。
		② 課題解決	学校経営目標の実現に向け、広い視点から積極的に課題解決に取り組むとともに必要な報告や的確な進言を行う。
		③ 粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く積極的に取り組む。
学習指導等	3 魅力ある授業、学力向上の取組を実践し、学習指導等の工夫 改善、さらなる専門性の向上に取り組む。	① 知識 技能	学習指導に関するより高度な専門的知識 技能を有し、さらなる向上に取り組む。
		② 計画	適切な指導計画を立て、適宜見直しを行い、計画的な学習指導等を行う。
		③ 指導	児童生徒の実態等を十分に把握し、個に応じたきめ細かな指導等、模範的な指導を行う。
		④ 評価	適切な評価を行い、指導と評価の一体化が図られ、学習指導等の工夫・改善に取り組む。
児童生徒指導等	4 児童生徒の自己指導能力の育成を図りキャリア形成に向けた児童生徒指導等を実践し、指導の充実に取り組む。	① 信頼関係	児童生徒の理解に努め、児童生徒と望ましい信頼関係を築く。
		② 健康安全	児童生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した指導を行う。
		③ 生徒指導	学校行事等の様々な活動を通して、児童生徒の自己指導能力の育成を図り、指導の充実に取り組む。
		④ 進路指導	児童生徒一人一人の意欲や適性を考慮し、児童生徒が主体的に進路選択ができるような指導を行い、その充実に取り組む。
		⑤ 問題行動対応	児童生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な指導を行う。
調整・連携	5 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務にあたるとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりに取り組む。	① 連携	管理職や職員間で学校 部 学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		② 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。
育成・援助	6 職員一人一人の資質向上を促すような指導 助言、円滑な職務遂行につながる援助等を適切に行う。	① 育成	職員一人一人の資質向上を促すような指導 助言等を適切に行う。
		② 援助	職員の円滑な職務遂行につながる援助を適切に行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【教諭(基礎期：教職1～4年)】

教諭(基礎期：教職1～4年)			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学習指導等	2 魅力ある授業、学力向上の取組を実践し、学習指導等の工夫改善、専門性の向上に取り組む。	① 知識 技能	学習指導に関する専門的知識 技能を有し、その向上に取り組む。
		② 指導計画	適切な指導計画を立て、適宜見直しを行い、計画的な学習指導等を行う。
		③ 学習指導	児童生徒の実態等を把握し、個に応じた指導等を行う。
		④ 指導 評価の一体化	適切な評価を行い、指導と評価の一体化が図られ、学習指導等の工夫改善に取り組む。
児童生徒指導等	3 児童生徒の自己指導能力の育成を図りキャリア形成に向けた児童生徒指導等を実践し、指導の充実に取り組む。	① 信頼関係	児童生徒の理解に努め、児童生徒と望ましい信頼関係を築く。
		② 健康安全	児童生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した指導を行う。
		③ 生徒指導	学校行事等の様々な活動を通して、児童生徒の自己指導能力の育成を図る指導を行う。
		④ 進路指導	児童生徒一人一人の意欲や適性を考慮し、児童生徒が主体的に進路選択ができるような指導を行う。
		⑤ 問題行動対応	児童生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な指導を行う。
教育活動への参画	4 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に積極的に取り組む。	① 積極性	学校の教育活動に積極的に関わっている。
		② 校務遂行	管理職や主任等の指導助言を受けながら、担当する校務を主体的に遂行する。
調整・連携	5 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務にあたるとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりに取り組む。	① コミュニケーション	管理職や職員間で円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
		② 調整 連携	管理職や職員間で学校 部 学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【教諭(充実・発展期：教職5～19年)】

教諭 (充実・発展期:教職5～19年)			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りに参画する。
学習指導等	2 魅力ある授業、学力向上の取組を実践し、学習指導等の工夫改善、専門性の向上に取り組む。	①知識 技能	学習指導等に関する高度な専門的知識 技能を有し、さらなる向上に取り組む。
		②指導計画	適切な指導計画を立て、適宜見直しを行い、計画的な学習指導等を行う。
		③学習指導	児童生徒の実態等を十分に把握し、個に応じたきめ細かな指導等を行う。
		④指導 評価の一体化	適切な評価を行い、指導と評価の一体化が図られ、学習指導等の工夫・改善に取り組む。
児童生徒指導等	3 児童生徒の自己指導能力の育成を図りキャリア形成に向けた児童生徒指導等を実践し、指導の充実に取り組む。	①信頼関係	児童生徒の理解に努め、児童生徒と望ましい信頼関係を築く。
		②健康安全	児童生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した指導を行う。
		③生徒指導	学校行事等の様々な活動を通して、児童生徒の自己指導能力の育成を図り指導の充実に取り組む。
		④進路指導	児童生徒一人一人の意欲や適性を考慮し、児童生徒が主体的に進路選択ができるような指導を行い、その充実に取り組む。
		⑤問題行動対応	児童生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な指導を行う。
教育活動への参画	4 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に積極的に取り組む。	①校務遂行	担当する校務を計画に沿って適切に遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務にあたるとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりに取り組む。	①調整 連携	管理職や職員間で学校 部 学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。
		③助言 援助	職員の資質向上や円滑な職務遂行につながる助言 援助を適切に行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【教諭(指導期:教職20年以上)】

教諭(指導期:教職20年以上)			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りに参画する。
学習指導等	2 魅力ある授業、学力向上の取組を実践し、学習指導等の工夫改善、専門性の向上に取り組む。	① 知識 技能	学習指導に関するより高度な専門的知識 技能を有し、さらなる向上に取り組む。
		② 指導計画	適切な指導計画を立て、適宜見直しを行い、計画的な学習指導等を行う。
		③ 学習指導	児童生徒の実態等を十分に把握し、個に応じたきめ細かな指導等、模範的な指導を行う。
		④ 指導 評価の一体化	適切な評価を行い、指導と評価の一体化が図られ、学習指導等の工夫・改善に取り組む。
児童生徒指導等	3 児童生徒の自己指導能力の育成を図りキャリア形成に向けた児童生徒指導等を実践し、指導の充実に取り組む。	① 信頼関係	児童生徒の理解に努め、児童生徒と望ましい信頼関係を築く。
		② 健康安全	児童生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した指導を行う。
		③ 生徒指導	学校行事等の様々な活動を通して、児童生徒の自己指導能力の育成を図り、指導の充実に取り組む。
		④ 進路指導	児童生徒一人一人の意欲や適性を考慮し、児童生徒が主体的に進路選択ができるような指導を行い、その充実に取り組む。
		⑤ 問題行動対応	児童生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な指導を行う。
教育活動への参画	4 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に積極的に取り組む。	① 校務遂行	関連する校務等に配慮しながら、担当する校務を計画に沿って適切に遂行する。
		② 課題解決	学校経営目標の実現に向け、学校全体を見通した視点から課題解決に取り組む。
		③ 粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務にあたるとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりに取り組む。	① 調整 連携	管理職や職員間で学校 部 学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		② 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。
		③ 育成 援助	職員の資質向上を促すような指導 助言、円滑な職務遂行につながる援助等を適切に行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【養護教諭】

養護教諭			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服従規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服従規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りに参画する。
保健管理	2 児童生徒の心身の健康状態等を的確に把握分析し、学校の実態に応じた保健管理、保健室経営等を実践し、その工夫改善に取り組む。	①把握分析	児童生徒の心身の健康状態や学校環境衛生等を的確に把握分析する。
		②学校保健計画等	学校や児童生徒の実態に応じた学校保健計画等の企画立案において、中心的な役割を果たす。
		③保健室経営	保健室経営計画等を作成し、適切な保健室管理を行うとともに利用状況の分析 評価等をもとにその工夫改善に取り組む。
		④設備等の管理	保健室の設備 備品や諸帳簿等の管理を適切に行う。
		⑤健康相談	健康相談等を実施し、児童生徒の心身の健康課題の早期発見 対応に取り組む。
		⑥救急処置	救急体制の整備と周知に努め、緊急時には的確な救急対応 処置を行う。
保健指導	3 心身ともに健康な児童生徒の育成をめざし、学校や児童生徒の実態に応じた保健指導を職員等と連携して実践し、その工夫改善に取り組む。	①信頼関係	児童生徒の理解に努め、児童生徒と望ましい信頼関係を築く
		②保健指導計画等	学校や児童生徒の実態に応じた保健指導計画等の企画立案に専門的立場から参画する。
		③能力育成	児童生徒が自らの安全 健康について考え、判断し、行動できるような実践能力を育む取組を積極的に行い、その工夫改善に取り組む。
		④連携指導 支援	児童生徒の健康問題に対する対応や予防について、職員や保護者、専門的機関等と連携を図りながら適切な指導 支援を行う。
		⑤情報発信	保健情報を積極的に収集 分析し、児童生徒や職員、保護者等に対し適切な情報を効果的に発信する。
教育活動への参画	4 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に積極的に取り組む。	①校務遂行	担当する校務を計画に沿って適切に遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりに取り組む。	①連携	管理職や職員間で学校 部 学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②情報共有	児童生徒の健康状態や態度 行動等に関して、職員や保護者と積極的に情報を共有し、個に応じた適切な指導に活かす。
		③外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。
		④医療機関との連携	健康診断等の学校保健業務が円滑に実施 推進できるよう、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等との協力体制を構築する。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【栄養教諭】

栄養教諭			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教育公務員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
給食管理	2 児童生徒の食生活の実態や嗜好等を把握・分析し、安心 安全で魅力ある学校給食の運営において、中心的な役割を果たす。	①把握 分析	児童生徒の食生活の実態や嗜好等を的確に把握 分析する。
		②献立計画等作成	学校や児童生徒の実態に応じた、安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食献立計画等を作成する。
		③衛生管理	適切な衛生管理計画を作成し、調理従事者や施設設備、食品の衛生に関する日常点検及び指導 助言等の衛生管理を確実に行う。
		④食材調達	安心 安全で、生徒の嗜好や地域食材の活用等を考慮した魅力ある学校給食用物資の調達に取り組む。
		⑤工夫 改善	情報を積極的に収集 分析し、学校給食の向上に向けた工夫 改善に取り組む。
食に関する指導	3 学校教育全体を通じた食育の推進を図り健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。	①信頼関係	児童生徒の理解に努め、児童生徒と望ましい信頼関係を築く
		②取組の推進	学校全体における食育推進の評価指標等を把握 分析し、児童生徒の健全な食生活を実践することのできる能力育成の取組を推進する。
		③食に関する指導	学校や児童生徒の実態に応じた食の指導に専門的立場から参画し、食に関する指導の工夫 改善に取り組む。
		④個別指導等	児童生徒の食生活の実態に応じたきめ細かな個別指導や栄養相談等を行う。
		⑤情報提供	教材としての給食の活用や食に関する情報提供等を行い、校内の指導体制および家庭の教育力の充実に取り組む。
教育活動への参画	4 学校給食や食育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	学校給食や食育の充実に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校給食や食育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に開かれた学校づくりに取り組む。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②情報共有	児童生徒の食生活や健康状態等に関して、職員や保護者と積極的に情報を共有し、個に応じた適切な指導に活かす。
		③外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【実習助手】

実習助手			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
実験・実習等の支援	2 安全な環境で充実した実験 実習等が円滑に行われるよう、教諭と連携して、実験 実習等の事前準備等を行い、教諭を適切に支援する。	①防災 安全管理	安全な環境で実験 実習等が行えるよう、実習室 準備室等の防災 安全管理や機材 備品等の整理 整頓等を適切に行う。
		②備品整備 台帳管理	充実した実験 実習等が円滑に行えるよう、施設 備品の整備や薬品の台帳管理等を適切に行う。
		③準備 情報提供	教諭と連携して、実験 実習等の準備を行うとともに教諭に対し積極的に情報提供を行う等、適切な支援や助言を行う。
		④補助 支援	教諭と連携して、実験 実習等の指導補助や支援を生徒の実態に応じて適切に行う。
		⑤事後処理 評価	教諭と連携して、実験 実習等の事後処理や評価を行い、適切な工夫 改善を行う。
生徒対応等	3 生徒と望ましい人間関係を築き、生徒の実態に応じた適切な対応を行う。	①信頼関係	生徒の理解に努め、生徒と望ましい信頼関係を築く。
		②健康安全	生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した対応を行う。
		③問題行動対応	生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な対応を行う。
教育活動への参画	4 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に積極的に取り組む。	①校務遂行	担当する校務を計画に沿って適切に遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に開かれた学校づくりに取り組む。	①コミュニケーション	管理職や職員間で円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
		②連携	管理職や職員間で学校 部 学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【寄宿舍指導員】

寄宿舍指導員			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
生活指導	2 児童生徒と望ましい信頼関係を築き、実態に応じた適切な日常生活の世話及び生活指導を行う。	①信頼関係	児童生徒の理解に努め、障害や健康の状態、能力 適性等を把握し、望ましい信頼関係を築く。
		②世話及び指導	児童生徒の実態に応じた個別の指導計画を作成し、適切な日常生活の世話及び生活指導を行う。
		③健康安全	児童生徒の健康や安全に十分配慮した日常生活の世話及び生活指導を行う。
		④工夫 改善	指導の反省等を踏まえ、指導計画や指導方法等の工夫 改善に取り組む。
		⑤問題行動対応	児童生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な指導を行う。
寄宿舍管理・運営	3 安心 安全な寄宿舍環境を整備し、関係者と連携して児童生徒の実態を把握し、適切な寄宿舍管理 運営を行う。	①環境整備	安心して過ごせる安全な寄宿舍環境の整備に向けて、事故の未然防止や防災 安全対策等に取り組む。
		②適切な指導	児童生徒の実態に応じた寄宿舍行事、余暇活動、舎生活動等の企画立案を行い、児童生徒の能力や特性を生かす適切な指導を行う。
		③舎務遂行	寄宿舍運営における自らの役割を果たし、工夫 改善に向け建設的な提言 助言を行う。
		④緊急対応	緊急体制の整備と周知に努め、緊急時には的確な対応 処置を行う。
教育活動への参画	4 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 寄宿舍運営の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに開かれた学校づくりに取り組む。	①連携	管理職や職員間で寄宿舍運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②助言 援助	職員の資質向上や円滑な職務遂行につながる助言 援助を適切に行う。
		③外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、児童生徒指導や寄宿舍運営の充実に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【機関長】

機関長			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服従規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服従規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
実習船運航	2 実習船の監督者として船長を補佐し、実習船運航に関する専門的知識・技能を発揮し、職務を適切に遂行する。	①実態把握 対応	学校や生徒の実態を把握し、実態に応じて適切に職務を遂行する。
		②安全衛生	実習船の安全衛生に配慮し、機器や施設管理、環境整備について適切な対応や提案を行う。
		③専門的知識 技能	専門的知識 技能を発揮し、適切で効率的に職務を遂行するとともにその工夫・改善に取り組む。
		④判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切な判断を行う。
		⑤補佐	実習船の監督者として船長を補佐し、的確な進言を行う。
教育活動への参画	3 水産教育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	水産教育の充実に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	4 水産教育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりを支援する。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。
生徒への対応	5 生徒と望ましい関係を築き、生徒の実態に応じた適切な対応を行う。	①生徒との関係	生徒の理解に努め、生徒と望ましい関係を築く。
		②健康安全	生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した対応を行う。
		③問題行動対応	生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な対応を行う。
育成・援助	6 職員一人一人の資質向上を促すような指導 助言、円滑な職務遂行につながる援助等を適切に行う。	①育成	職員一人一人の資質向上を促すような指導 助言等を適切に行う。
		②援助	職員の円滑な職務遂行につながる援助を適切に行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【一等航海士】

一等航海士			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服従規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服従規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りに参画する。
実習船運航	2 学校や生徒の実態に応じて、実習船運航に関する専門的知識・技能を発揮し、上司の指示のもと、職務を適切に遂行する。	①実態把握 対応	学校や生徒の実態を把握し、実態に応じて適切に職務を遂行する。
		②安全衛生	実習船の安全衛生に配慮し、機器や施設管理、環境整備について適切な対応や提案を行う。
		③専門的知識 技能	専門的知識 技能を発揮し、適切で効率的に職務を遂行するとともにその工夫・改善に取り組む。
		④判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切な判断を行う。
		⑤提案 助言	職務に関する専門的知識 技能を活かし、適切な提案や助言を行う。
教育活動への参画	3 水産教育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	水産教育の充実に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	4 水産教育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりを支援する。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。
生徒への対応	5 生徒と望ましい関係を築き、生徒の実態に応じた適切な対応を行う。	①生徒との関係	生徒の理解に努め、生徒と望ましい関係を築く。
		②健康安全	生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した対応を行う。
		③問題行動対応	生徒の問題行動等に対し、実態に応じた適切な対応を行う。
後輩の指導	6 後輩への指導助言を行うことができる。	①指導助言	同僚や後輩からの相談に対しの確かな指示やアドバイスを行う。
		②支援	業務上の支援が必要な後輩に対し、適切な指導を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【船 員】

船員			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
実習船運航	2 学校や生徒の実態に応じて、実習船運航に関する知識・技能を発揮し、上司の指示のもと、職務を適切に遂行する。	①実態把握 対応	学校や生徒の実態を把握し、適切に職務を遂行する。
		②安全衛生	実習船の安全衛生に配慮し、機器や施設管理、環境整備について適切な対応や提案を行う。
		③専門的知識 技能	知識 技能を発揮し、適切で効率的に職務を遂行するとともにその工夫・改善に取り組む。
		④判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切な判断を行う。
		⑤提案 助言	職務に関する知識 技能を活かし、適切な提案や助言を行う。
教育活動への参画	3 水産教育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	水産教育の充実に向け、課題解決に取り組む。
		③粘り強さ	職務上の課題等について、真摯に取り組む。
調整・連携	4 水産教育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わられた学校づくりを支援する。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、連携して職務に取り組む。
		②外部連携	保護者や地域社会、関係機関等と連携し、教育活動の充実に取り組む。
生徒への対応	5 生徒と望ましい関係を築き、適切な対応を行う。	①生徒との関係	生徒の理解に努め、生徒と望ましい関係を築く。
		②健康安全	生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した対応を行う。
		③問題行動対応	生徒の問題行動等に対し、適切な対応を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【乗組員】

乗組員			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
技能に関する職務	2 職務に関する知識・技能を発揮し、実習船や児童生徒の実態に応じて、適切に職務を遂行する。	①実態把握 対応	実習船や児童生徒の実態に応じて適切に職務を遂行する。
		②環境整備	実習船の安全衛生に配慮し、機器管理や環境整備等について適切な対応を行う。
		③知識 技能	知識 技能を発揮し、適切で効率的に職務を遂行する。
		④判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切に判断し、処理する。
		⑤提案 助言	職務に関する知識 技能を活かし、適切な提案や助言を行う。
調整・連携	3 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりを支援する。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②外部対応	保護者や地域社会、関係機関等と連携し、教育活動の充実に取り組む。
生徒への対応	4 生徒と望ましい関係を築き、適切な対応を行う。	①生徒との関係	生徒の理解に努め、生徒と望ましい関係を築く。
		②健康安全	生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した対応を行う。
		③問題行動対応	生徒の問題行動等に対し、適切な対応を行う。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務主幹】

事務主幹			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律順守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校運営への参画	2 事務主幹として必要な知識を持ち、学校経営目標の実現に向け、広い視点から課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、必要な情報を収集して主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、学校の諸課題を把握し、その課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
学校事務	3 学校経営目標の実現及び教育活動の充実に向け、上司や関係者等と連携して、法令等に基づいた適切な学校事務処理を行う。	①適切な処理	法令や学校事務に関する専門的知識等に基づいて、適切に職務を処理する。
		②正確な処理	期限内に職務を正確に処理する。
		③判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切に判断し、処理する。
		④工夫 改善	効率的な職務の遂行に向けた工夫・改善を積極的に行う。
調整・連携	4 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務にあたるとともに、保護者や地域社会等に関わった学校づくりに取り組む。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②提案	教育活動の条件整備等に向けて、職員に適切な提案や助言を行う。
		③外部対応	保護者からの問合せや外部からの来訪者等に丁寧な対応を行う。
		④外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との高度な調整 連携を行い、教育活動の条件整備等に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務主査】

事務主査			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律順守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校事務	2 教育活動の充実に向け、管理者や関係者等と連携して、法令等に基づいた適切な学校事務処理を行う。	① 適切な処理	法令や学校事務に関する専門的知識等に基づいて、適切に職務を処理する。
		② 正確な処理	期限内に職務を正確に処理する。
		③ 判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切に判断し、処理する。
		④ 工夫 改善	効率的な職務の遂行に向けた工夫・改善を行う。
学校運営への参画	3 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	① 主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		② 課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③ 粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	4 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりに取り組む。	① 連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		② 提案	教育活動の条件整備等に向けて、職員に適切な提案や助言を行う。
		③ 外部対応	保護者からの問合せや外部からの来訪者等に丁寧な対応を行う。
		④ 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の条件整備等に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【主任（事務）】

主任（事務）			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律順守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校事務	2 教育活動の充実に向け、管理者の指示や法令等に基づいた適切な学校事務処理を行う。	① 適切な処理	法令や学校事務に関する知識等に基づいて、適切に職務を処理する。
		② 正確な処理	期限内に職務を正確に処理する。
		③ 判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切に判断し、処理する。
		④ 理解力	上司の指示を正しく理解することができる。
学校運営への参画	3 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に取り組む。	① 主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		② 課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に取り組む。
		③ 粘り強さ	困難な課題等に対しても、真摯に取り組む。
調整・連携	4 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりに取り組む。	① 連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		② 提案	教育活動の条件整備等に向けて、職員に適切な提案や助言を行う。
		③ 外部対応	保護者からの問合せや外部からの来訪者等に丁寧な対応を行う。
		④ 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の条件整備等に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務主事】

事務主事			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律順守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
学校事務	2 教育活動の充実に向け、管理者の指示や法令等に基づいた適切な学校事務処理を行う。	① 適切な処理	法令や学校事務に関する知識等に基づいて、適切に職務を処理する。
		② 正確な処理	期限内に職務を正確に処理する。
		③ 判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切に判断し、処理する。
		④ 理解力	上司の指示を正しく理解することができる。
学校運営への参画	3 学校経営目標の実現に向け、管理者の指示のもと、所掌する業務に取り組むことができる。	① 主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		② 課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に取り組む。
		③ 粘り強さ	職務上の課題等について、真摯に取り組む。
調整・連携	4 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりに取り組む。	① 連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、連携して職務に取り組む。
		② 提案	教育活動の条件整備等に向けて、職員に適切な提案や助言を行う。
		③ 外部対応	保護者からの問合せや外部からの来訪者等に丁寧な対応を行う。
		④ 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の条件整備等に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【事務職員（司書）】

事務職員(司書)			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服従規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服従規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
図書館の管理・運営	2 学校や児童生徒の実態に応じた図書館の管理運営を適切に行い、図書館の充実や読書活動の活性化に取り組む。	①環境整備	読書活動が落ち着いてできる適切な図書館環境の整備を行う。
		②図書等の管理 活用	専門的知識 技能を活用して、図書及び図書データ等を適切に管理し、活用する。
		③情報発信	学校や児童生徒の実態を把握し、読書活動の活性化につながる適切な情報発信や支援を行う。
		④児童生徒対応	図書館利用者や児童生徒図書委員等に対し、適切な対応を行う。
		⑤工夫 改善	業務遂行に新しい発想や方法を取り入れるなど、図書館の活性化に向けた工夫 改善を行う。
学校運営への参画	3 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	4 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりに取り組む。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②提案	教育活動の充実に向け、図書や図書館の活用等について、職員に適切な提案や助言を行う。
		③外部対応	保護者からの問合せや外部からの来訪者等に丁寧な対応を行う。
		④外部連携	保護者との懇談 保護者会、開かれた学校づくりのための広報活動等を支援し、保護者や地域との連携を図る。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【学校栄養主査】

学校栄養主査			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服従規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服従規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
給食管理	2 児童生徒の食生活の実態や嗜好等を把握・分析し、安心 安全で魅力ある学校給食の運営において、中心的な役割を果たす。	① 把握 分析	児童生徒の食生活の実態や嗜好等を的確に把握 分析する。
		② 献立計画等作成	学校や児童生徒の実態に応じた、安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食献立計画等を作成する。
		③ 衛生管理	適切な衛生管理計画を作成し、調理従事者や施設設備、食品の衛生に関する日常点検及び指導 助言等の衛生管理を確実に実行する。
		④ 食材調達	安心 安全で、生徒の嗜好や地域食材の活用等を考慮した魅力ある学校給食用物資の調達に取り組む。
		⑤ 工夫 改善	情報を積極的に収集 分析し、学校給食の向上に向けた工夫 改善に取り組む。
食に関する指導	3 学校教育全体を通じた食育の推進を図り健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。	① 取組の推進	学校全体における食育を推進し、児童生徒の健全な食生活を実践することのできる能力育成の取組を推進する。
		② 食に関する指導	学校や児童生徒の実態に応じた食の指導に専門的立場から参画し、食に関する指導を支援する。
		③ 情報提供	教材としての給食の活用や食に関する情報提供等を行い、校内の指導体制および家庭の教育力の充実に支援する。
教育活動への参画	4 学校給食や食育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	① 主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		② 課題解決	学校給食や食育の充実に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③ 粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校給食や食育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に開かれた学校づくりに取り組む。	① 連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		② 情報共有	児童生徒の食生活や健康状態等に関して、職員や保護者と積極的に情報を共有し、個に応じた適切な指導に活かす。
		③ 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との調整 連携を行い、教育活動の充実に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【主任（給食）】

主任（給食）			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
給食管理	2 児童生徒の食生活の実態や嗜好等を把握し、安心 安全で魅力ある学校給食の運営において、必要な役割を果たす。	①把握	児童生徒の食生活の実態や嗜好等を的確に把握する。
		②献立計画等作成	学校や児童生徒の実態に応じた、安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食献立計画等を作成する。
		③衛生管理	適切な衛生管理計画を作成し、調理従事者や施設設備、食品の衛生に関する日常点検及び助言等の衛生管理を確実に行う。
		④食材調達	安心 安全で、生徒の嗜好や地域食材の活用等を考慮した魅力ある学校給食用物資の調達に取り組む。
		⑤工夫 改善	情報を収集し、学校給食の向上に向けた工夫 改善に取り組む。
食に関する指導	3 学校教育全体を通じた食育の推進を図り健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。	①取組	学校全体における食育を推進し、児童生徒の健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。
		②食に関する指導	学校や児童生徒の実態に応じた食の指導に専門的立場から参画し、食に関する指導を行う。
		③情報提供	教材としての給食の活用や食に関する情報提供等を行い、校内の指導体制および家庭の教育力の充実に支援する。
教育活動への参画	4 学校給食や食育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、職務を遂行する。
		②課題解決	学校給食や食育の充実に向け、課題解決に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	5. 学校給食や食育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等にかかれた学校づくりに取り組む。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、連携して職務に取り組む。
		②情報共有	児童生徒の食生活や健康状態等に関して、職員や保護者と情報を共有し、個に応じた適切な指導に活かす。
		③外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との連携を行い、教育活動の充実に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【学校栄養職員】

学校栄養職員			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	① 責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		② 規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③ 不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作り等に参画する。
給食管理	2 児童生徒の食生活の実態や嗜好等を把握し、安心 安全で魅力ある学校給食の運営において、上司の指示のもと、必要な役割を果たす。	① 把握	児童生徒の食生活の実態や嗜好等を的確に把握する。
		② 献立計画等作成	上司の指示のもと、学校や児童生徒の実態に応じた、安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食献立計画等を作成する。
		③ 衛生管理	適切な衛生管理計画を作成し、調理従事者や施設設備、食品の衛生に関する日常点検及び助言等の衛生管理を行う。
		④ 食材調達	安心 安全で、生徒の嗜好や地域食材の活用等を考慮した魅力ある学校給食用物資の調達に取り組む。
		⑤ 改善	情報を収集し、学校給食の向上に向けた改善に取り組む。
食に関する指導	3 学校教育全体を通じた食育の推進を図り健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。	① 取組	学校全体における食育を推進し、児童生徒の健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。
		② 食に関する指導	学校や児童生徒の実態に応じた食の指導に参画する。
		③ 情報提供	教材としての給食の活用や食に関する情報提供等を行い、校内の指導体制および家庭の教育力の充実に支援する。
教育活動への参画	4 学校給食や食育の充実に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に取り組む。	① 主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、職務を遂行する。
		② 課題解決	学校給食や食育の充実に向け、課題解決に取り組む。
		③ 粘り強さ	職務上の課題等に対しても、真摯に取り組む。
調整・連携	5 学校給食や食育の充実に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に開かれた学校づくりに取り組む。	① 連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、連携して職務に取り組む。
		② 情報共有	児童生徒の食生活や健康状態等に関して、職員や保護者と情報を共有し、適切な指導に活かす。
		③ 外部連携	保護者や地域社会、関係機関等との連携を行い、教育活動の充実に取り組む。

○資質能力評価の評価項目及び行動 【現業職員】

現業職員			
項目及び行動		着眼点	
倫理・規律遵守	1 県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組むとともに、教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、服務規律等を遵守して職務を遂行する。	①責任感	県民全体の奉仕者として、責任を持って職務に取り組む。
		②規律遵守	教職員として高い倫理観、使命感、教育的愛情を持ち、法令 服務規律等を遵守する。
		③不祥事防止	人権意識やコンプライアンスの向上、ハラスメント防止等に向けた職場作りに参画する。
技能に関する職務	2 職務に関する専門的知識・技能を発揮し、学校や児童生徒の実態に応じて、適切に職務を遂行する。	①実態把握 対応	学校や児童生徒の実態に応じて適切に職務を遂行する。
		②環境整備	学校の安全衛生に配慮し、施設管理や環境整備等について適切な対応を行う。
		③専門的知識 技能	専門的知識 技能を発揮し、適切で効率的に職務を遂行する。
		④判断	管理者や関係者等への報告・連絡・相談のもとに、適切に判断し、処理する。
		⑤提案 助言	職務に関する専門的知識 技能を活かし、適切な提案や助言を行う。
教育活動への参画	3 学校経営目標の実現に向け、組織の一員として自覚を持ち、課題解決に積極的に取り組む。	①主体性	組織の一員として自らの役割を理解し、主体的に職務を遂行する。
		②課題解決	学校経営目標の実現に向け、課題解決に積極的に取り組む。
		③粘り強さ	困難な課題等に対しても、粘り強く真摯に取り組む。
調整・連携	4 学校経営目標の実現に向け、管理職や職員間で連携して職務に取り組むとともに保護者や地域社会等に関わった学校づくりを支援する。	①連携	管理職や職員間で課題を共有するなど相互理解に努め、調整 連携して職務に取り組む。
		②外部対応	保護者からの問合せや外部からの来訪者等に丁寧な対応を行う。